

今回のテーマ

「ターン」

生まれも育ちも県外だけど、取手と龍ヶ崎を現在の拠点としているお二人に、ふるさととの違いや、逆に似ているところ、選んだ理由などをお聞きしました！ 読めば新たな地元の魅力を発見できるかも？

取手と龍ヶ崎を選んだ理由

伊 取手市には結婚を機に住み始めましたが、秋田にいた頃もイベントなどで訪れる機会が数回ありました。その時に交流した取手在住のアーティストの方々が魅力的で…。ずっと憧れていたんです。

酒 取手は東京芸大があるし、アートが盛んですもんね。僕は逆に、実際に住むまで龍ヶ崎市に来たことすらなかったんです。

伊 それはすごい。龍ヶ崎を選んだ理由は？

酒 タイ駐在中に帰国後に住む物件を探していたのですが、海を越えての手続きが煩雑で。ほとんどの不動産会社が渋る中、龍ヶ崎市の不動産屋さんだけが、丁寧に対応してくださったんです。



伊 人柄が出ますね。実際にお住まいになってみていかがですか？

酒 住みやすいですね。特にニュータウンは街並みがキレイ。市役所の対応が早い！運転マナーもいいし、やはり人の温かさを感じます。

伊 取手ですが、都内へのア

数学塾 さくらゼミナール代表

酒 酒谷 拓一郎さん

Profile

大阪府出身。神戸市外国語大学を卒業後、ユニチカ(株)で8年間、帝人(株)で10年間、貿易や海外プラント建設、国内・海外の営業・マーケティングを行う。2017年3月に2年間のタイ・バンコク駐在の任を終え帰国。同年4月より龍ヶ崎市に移住し、昨年8月に数学塾 さくらゼミナールを開塾。

CROSS

龍ヶ崎

取手

TALK

伊 伊藤 園子さん

Profile

秋田県出身。秋田大学卒業後、筑波大学大学院にて、木彫を学ぶ。院の修了制作で、りんこのオリジナルキャラクター「ボメリー」を生み出し、以後作品の軸に。古河市で8年活動した後いったん秋田に戻るが、龍ヶ崎市の中学校に美術の講師として勤務するため、14年に再び茨城県に。現在は自宅のある取手市を拠点に創作活動を行う。

クセスの良さも魅力ではないですか？

酒 分かります！ 都心から近いのに、のどかな田園風景が広がる場所ってそうないですよね。

住めば分かる茨城の魅力

伊 実は、秋田も取手と同様にアートで町おこしをしているんです。酒谷さんの地元と龍ヶ崎とで似ているところってありますか？

酒 うーん、人との距離が近いところかな。特に古くから龍ヶ崎に住んでる人って気さくに話しかけてくれる印象です。大阪ほどの押しの強さはないですが(笑)。取手は自然が豊かな点も秋田との共通点？



伊 それが全く違うんです。秋田は、海や山に囲まれていて雄大。冬は雪景色が美しく、ひよっこ妖怪でも出てきそうな森があったり…。それに比べたら取手は都会ですね(笑)。

酒 でもそういう神秘的な環境で育ったから、伊藤さん独特の個性的な作品が生み出せるのでは？

伊 確かに、すごく影響を受けていますね。その感覚を大切にしたいから、年に数回は秋田のアトリエで過ごしています。

酒 取手で刺激を受けて、秋田で原風景を取り戻し、バランスを取っているんでしょうね。

伊 そうですね。取手でアーティストさんから受けるエネルギーが私の原動力。「人」も取手の魅力の一つだと思います。

酒 魅力度ランキングでは最下位の茨城県ですが、観光面では確かにそうかもしれませんが、でも、住みやすさや快適さは胸を張って自慢できますね。

